

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成29年8月24日(2017.8.24)

【公開番号】特開2016-22098(P2016-22098A)  
 【公開日】平成28年2月8日(2016.2.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2016-009  
 【出願番号】特願2014-147514(P2014-147514)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月13日(2017.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技に関する情報を表示可能な表示領域を有する遊技情報表示手段と、  
 複数種類の図柄を表示する複数の回胴を有し、各回胴の回転停止時の図柄の組合せにより遊技結果を表示する遊技結果表示手段と、

前記回胴の回転を個別に停止させるように各回胴に対応して設けられた複数の停止ボタンからなる停止手段と、を備えた回胴式遊技機であって、

前記表示領域の横幅Lの中点を上下方向に通る直線を第1直線とし、

前記遊技結果表示手段の横幅Mの中点を上下方向に通る直線を第2直線とし、

前記停止手段の横幅Nの中点を上下方向に通る直線を第3直線とし、

前記遊技情報表示手段は、前記表示領域において前記停止ボタンの操作手順を示す停止操作情報を表示可能であり、該停止操作情報が何れの操作手順を示す場合であっても前記第1直線に対してずらした位置に表示することを特徴とする回胴式遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の回胴式遊技機において、

前記表示領域を2以上有する場合、前記横幅Lは、最も左側の表示領域の左端部から最も右側の表示領域の右端部までの幅とすることを特徴とする回胴式遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

第1発明は、遊技に関する情報を表示可能な表示領域を有する遊技情報表示手段と、複数種類の図柄を表示する複数の回胴を有し、各回胴の回転停止時の図柄の組合せにより遊技結果を表示する遊技結果表示手段と、前記回胴の回転を個別に停止させるように各回胴に対応して設けられた複数の停止ボタンからなる停止手段と、を備えた回胴式遊技機であって、前記表示領域の横幅Lの中点を上下方向に通る直線を第1直線とし、前記遊技結果表示手段の横幅Mの中点を上下方向に通る直線を第2直線とし、前記停止手段の横幅Nの

中点を上下方向に通る直線を第3直線とし、前記遊技情報表示手段は、前記表示領域において前記停止ボタンの操作手順を示す停止操作情報を表示可能であり、該停止操作情報が何れの操作手順を示す場合であっても前記第1直線に対してずらした位置に表示することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

第2発明は、第1発明の回胴式遊技機において、前記表示領域を2以上有する場合、前記横幅Lは、最も左側の表示領域の左端部から最も右側の表示領域の右端部までの幅とすることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】